

【医療の質指標としての患者 QOL 指標の収集—全国調査—】

A. 研究目的

医療の質指標の評価およびそれらを公表する試みは、あらかじめ定めた臨床指標を分析・改善・公表することで、医療の質の向上を推進させることを目的として、昨今多くの医療機関において実施されている。平成22年度から、厚生労働省の事業として実施されている医療の質指標の評価・公表等推進事業は、9病院団体（日本病院会、全日本病院協会、国立病院機構等）が参加しており、これまでも多くの医療の質指標が各医療機関のホームページなどで公開されている。令和3年度、日本病院会では、QIプロジェクトに参加している354病院が、主として身体機能に関わる共通の52指標71項目¹⁾を収集し、各医療機関のホームページで公表し、PDCAサイクルを回すことにより医療の質改善に貢献している。

近年では、身体機能に関わる指標だけではなく、患者満足度や患者の生活の質（QOL）など、患者による主観的な感じ方を質指標にする試みが注目されている。イギリス NHS 傘下のすべての医療機関では、PROMs (Patient Reported Outcome Measures) プロジェクトと呼ばれる患者 QOL や患者満足度のデータを積極的に情報収集・分析・公開するプロジェクトが 2009 年～2021 年まで実施されていた。

Euro-QOL (EQ-5D) は、イギリスの PROMs プロジェクトにおいても用いられた患者の生活の質 (QOL) を測定する尺度の 1 つで、1987 年にオランダの研究者グループによって開発された。5 つの健康状態を測定する項目、「移動の程度」、「身の回りの管理」、「ふだんの活動」、「痛み／不快感」、「不安／ふさぎ込み」と主観的に健康状態を評価する「視覚評価法 (Visual Analog Scale; VAS)」で構成されている。EQ-5D によって算出される患者の QOL 値は、0 から 1 で算出され、1 が完全な健康状態、0 が死亡を意味する。イギリス NHS の PROMs プロジェクトでは、治療によってもたらされた患者の QOL 値への貢献度として、手術の前後の QOL 値の差分を Health Gain 値として、患者 50 万人のデータが収集され、医療機関ごとの Health Gain 値の平均値が公表された。

日本の多くの医療の質指標測定は、身体機能に関わる指標であり、患者QOL値の定量的な測定が定期

的に実施されている医療機関は少ない。そのため、医療者も「患者QOL」を重要視して、治療方針を立案するが、医療が患者QOLの改善にどの程度貢献できているか等の可視化が出来ていない。本研究では、わが国の複数の病院において患者QOL値を収集し、医療の質指標として収集を試みるための体制構築を目的とする。

B. 研究方法

患者 QOL 調査票である EQ-5D-5L を用いて、研究協力医療機関において 2022 年 8 月～2023 年 3 月までに消化器外科および整形外科領域で予定手術を計画している 20 歳以上の患者を対象に患者アンケート調査を実施する。アンケートは、入院時、退院時、退院 6 カ月後（6 カ月後のアンケートの協力の同意が取れた方のみ）のタイミングで実施する。

研究協力医療機関募集にあつたて、患者QOL (EQ-5D-5L) 値の収集に関する説明会も開催した。参加表明または、参加に興味があると回答した医療機関21施設に対して、個別のオンライン説明会を 2022年3月2日～3月31日に、Zoomを用いてに実施した。また、説明会実施後に各医療機関内で本研究の概要説明等に活用できるように研究の概要をまとめた音声付スライドを作成し配布した。患者さんへの説明文・付随アンケートのレイアウトに関しては協力医療機関からの意見を参考に検討を繰り返した。

入院時に研究協力医療機関から対象となる患者にアンケートを配布し、患者自身はアンケート用紙に回答した後、集計事務局に返送用封筒を使用して返送する。退院 6 カ月後のアンケート調査にも協力頂ける患者は、退院後 6 カ月後に集計事務局から患者の自宅に送付される 6 カ月後アンケートに回答して返送用封筒を使用して返送する。集計データは、集計事務局で集計され、各医療機関にフィードバックする予定としている。

分析は、術式別にHealth Gain値（術前・術後のQOL値の平均差分）を求め、年齢別の平均値も求める。また、入院時、退院時のデータについて、NHS のPROMsプロジェクトにおける調査結果との比較し検討する。

（倫理面への配慮）

本研究は匿名加工された調査票を用い、情報の収集、分析にあたっては匿名加工処理を行い分析する。

C. 研究結果

11病院が本研究に参加する予定となった。次年度、アンケート結果を報告する。

D. 考察

次年度、結果を吟味の上、考察を報告する。

E. 結論

次年度、結論を報告する。

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表 該当なし
2. 学会発表 該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
該当なし
2. 実用新案登録
該当なし
3. その他
該当なし